

平成22年度第1回米子市社会教育委員の会 議事概要

日 時 平成22年7月28日(水) 午後2時から午後4時10分

場 所 市役所第2庁舎 第2会議室

出席者

【委員】(敬称略)

永田卓夫(会長)、勝部将之(副会長)、卜蔵久子(副会長)、植田潔、佐々木邦広、湯浅厚子、寺岡利雄、梅林浩史、内田信義、安達博志、早原彰子、松本寿栄子、福島田鶴子、松原郁子、相見貴代子、木下光子

(欠席:福島多暉夫、植村ゆかり)

【事務局】

北尾教育長、手島生涯学習課長、角文化課長、小椋体育課体育係長、松良人権政策課人権啓発係長、斉下市立図書館長、小玉生涯学習課青少年係長、渡部生涯学習課生涯学習係長、田中生涯学習課社会教育主事、相野生涯学習課主任

日 程

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 委嘱状交付
- 5 議 事
(1) 平成22年度社会教育施策について
(2) その他 米子市教育振興計画の策定スケジュールについて
- 6 その他
- 7 閉 会

~以下議事~

1.開会

2.会長あいさつ

永田会長

開会にあたりまして簡単にご挨拶申し上げます。

本日は平成22年度の第1回米子市社会教育委員の会を召集いたしましたところ、連日厳しい熱さの中、委員の皆さんそして執行部の皆さんにお集まりいただき大変ご苦労さまです。

すでにご案内を申し上げましたように、平成22年度の米子市の社会教育の施策がそろいましたので、今日はそれを中心にご説明をいただき、皆さん方が質疑なりご質問をいただきたいと思っております。

その他は、後から説明がありますが、米子市社会教育振興計画のスケジュールについてまだ確定ではありませんけれども、ご披露したいということでございます。よろしくご審議の程をお願いしたいと思います。

大変ありがとうございました。

ご苦労さまでした。

3. 教育長あいさつ

北尾教育長

こんにちは。

今日は、平成22年度第1回社会教育委員の会を開催いたしましたところ、本当にお忙しいところまたこの暑さの中、お越しいただきまして本当にありがとうございます。

今日は、この後各課から事業説明させていただいたり、あるいは議事の中の(2)に米子市教育振興計画の策定スケジュールについてということで挙げさせていただいておりますけれども、教育基本法が改正になって国の方も教育振興計画というものを策定して、都道府県あるいは市町村にも基本計画を策定するようということですので今は話が動いております。

全国の動きや県の状況を見たりして時間がかかった感がありますけれども、教育委員会全体として教育基本計画、市の総合計画等をリンクさせて作っていくということですので動いており、その中で社会教育というのをどういう位置付けにするかということをお話しているところですが、委員の皆様方からもご意見・ご提案いただけたらと思います。

それから資料の方で大分皆さまにご心配をかけていると思っておりますけれども、図書館、美術館の整備計画の案を議会に示したものを用意させていただきました。

これについても、説明させていただきたいと思っております。

これにつきましては、今基本設計に掛かるまで、どのような基本的な考え方で進むのかという段階でございますので、目を通していただきたいと思います。

本日はいろいろ説明させていただいてご意見いただきますけれども、ご承知のように米子市だけでなく地方自治体、国もですけれども財政的に非常に厳しい状況が続いております。

なかなか、事業費を増やすとかあるいは維持すら難しいという段階で、事務局一同こういう時だからこそ知恵を絞って、汗を流して取り組んでいくということを常日頃行わせていただいているのですけれども、ぜひこの事業の中でこのようにしたらもっと良くなるのではないかとご提言をいただきたいと思います。

本日はよろしく申し上げます。

4. 委嘱状交付…新たに任命する委員2名に委嘱状を交付

5. 議事

永田会長

では、今司会者からご指名がありました通り、恒例により会長が本委員会の議長を務めさせていただきますので、なにとぞご協力の程よろしくお願いを申し上げます。

お手元に差し上げておりますところの委員会の次第に従って議事を進めていきたいと思っております。

では、まず第1に平成22年度社会教育の施策についてご説明をいただきたいと思います。

お手元にあります順序に従いまして最初に生涯学習の施策について生涯学習課の方からご説明をいただきたいと思います。

手島生涯学習課長

それでは説明させていただきます。(平成22年度生涯学習の施策について説明)

永田会長

ありがとうございました。

各委員さんからの質疑につきましては、一通り課の説明が終わってからやりたいと思いますので御了解いただきたい。

では、次に文化課お願い致します。

角文化課長

皆さんこんにちは。

この4月から文化課にまいりましたわたくし課長の角でございます。

よろしくお願ひいたします。

文化課の事業の基本方針についてご説明させていただきます。(平成22年度の文化課の事業の基本方針について説明)

小椋体育課体育係長

体育課でございます。

よろしくお願ひします。(平成22年度の体育課の基本方針について説明)

松良人権政策課人権啓発係長

人権政策課の係長をしております松良と言います。

よろしくお願ひします。(平成22年度の人権教育の施策について説明)

手島生涯学習課長

続きまして19ページから参考に乘せております教育費予算につきまして説明させていただきます。(教育委員会の所管に属する平成22年度予算について説明)

手島課長

図書館、美術館の説明をさせていただきます。(米子市図書館及び米子市美術館増改築推進プロジェクトについて説明)

永田会長

ありがとうございました。

では、ただいまから質疑をしますが、簡潔にして要領良くお願ひをしたいと思います。

よろしくお願ひします。

松本委員

生涯学習課の方の、社会教育活動総合事業の中なんですけれども、米子人生大学と各公民館の事業の中に重複しているようなものがあつたりとか、人生大学とアカデミーそしてまたそれと別に各公民館でも研修しているので重複していてお金がもつたいないという話も住民の方に聞いたことがあります。

もっと、この辺を本当にもう少しいろんな方が参加できるようなメニューを考えて欲しいなと思って聞きましたし、そのところご検討いただいて予算等を削って、その分をブックスタート、乳幼児の子育ての方に回していただきたいと思っています。

ご検討いただきたい。

それからここにあります家庭教育支援チームの活動がちょっと見えてきませんので、どうチームのメンバーがいらっしゃるか、そしてどういう活動をしているかをお尋ねします。

手島生涯学習課長

1点目の人生大学、アカデミーと各公民館の講座内容に重複しているものがあるとのことでしたが、内容に同じようなものがあるかもしれませんけれども、文化ホールまで行かなくても地域で講座を受けたいという方もおられます。

それから逆にもう1度話を聞きたい、人生大学で聞いた話を公民館でも聞きたいケースもあると思います。

言われるように講座の内容についてはたえず精査して行かなくてはならないと考えています。それから、家庭教育支援チームについてご説明します。

田中社会教育主事

生涯学習課で社会教育主事をしております田中です。

直接の担当ではありませんが、このチームの立ち上げに関わった関係もありますのでご説明させていただきます。

まず、この家庭教育支援チームについてですが、これは文部科学省の方で家庭教育、例えば子育て中の若い保護者の方等のいろいろな支援をしていく、具体的には相談事業であるとか、子育てに関する情報の提供をきめ細かくしていくという文部科学省の事業がありまして、そちらの事業を活用して活動しています。

チームにつきましては、3カ年の事業で今年は3年目になりますが、立ち上げ時に地域活動等でお世話になった社会教育委員のト蔵さんと相見委員さん、子育て支援の活動をしておられる土山さん、この3名の方をお願いをして活動をしておりまして、具体的な内容としましては、相談があれば受けていただくようなことをしていただいておりますが、メインは子育てに関する情報の収集をしていただいております。

昨年度、一昨年度情報収集をしていただき、アンケート調査ですとか聞き取りをしていただきまして、本年度、実際子育て中の保護者の方が必要であろうと思われる情報をリーフレット状にして作成をしていただくということにしております。

そのリーフレットについては各関係課に協力要請をしていかないといけません、子育て中のいろいろな困った皆さんにお配りしていきます。

このチームの立ち上げの際は、そういう活動のために立ち上げしますということで各課をお願いをしているところでございますけれども、実際の配布、作成につきましては夏か秋を予定しております。

松本委員

相談活動の場合はどうかたちですか。
どこが核になってしているのですか。

田中社会教育主事

先ほども申し上げましたが、相談があった場合は乗ってください、ただその問題が解決するまでというのはなかなか難しいので、適切なところをご案内していただく、紹介していただくというような内容です。

活動していく中で情報収集・アンケートを街中に出て、いろいろな保護者の方と接しておられますので、その中で相談があれば受けていただいております。

松本委員

米子市全体に行き渡っていくのかな、本当に困っている方は利用できないのではと思いますが、どのような広報をしておられますか。

ト蔵委員

補足して説明させていただきます。

まず、いろいろな子育て支援センター、児童文化センターそれと弓ヶ浜公園であったり湊山公園であったりいろいろな公園に出かけて聞き取りをしております。

それと合わせて河崎小学校の4年生の児童を対象に保護者からアンケートをいただいております。

私たちは、相談を受ける専門の立場ではありませんので、その聞き取りをしている時に、どこに聞きにいったらいいのか、これについてはどこに行ったら良いのかと言われた時には、健康対

策課の母子保健係やこども未来課などをご案内しております。

それと、福生西で元気の出る子育て相談がありますので、そちらの方につないだり、また必要とあれば専門機関の方につないだり、西部教育局の方の担当の先生の方につないだりしてつなげることはしております。

松本委員

どうして河崎小学校にしているのでしょうか。

ト蔵委員

それは、3年前は事業実施の為の協議会を発足させる関係がありまして、協議会の委員として当時の河崎小学校長が出ておられましたので、河崎小学校で児童や保護者よりアンケートを取らせていただいています。

松本委員

3年間計画的に活動されたのでしょうか。

ト蔵委員

計画を立てて3人でチームを組んでやっています。

いままでの活動の成果として、現在、お母さんやお父さん、子育て中の方が使い易いであろうという冊子を制作中です。

出来上がったらお届けをいたします。

早原委員

2点お聞きしたいのですけれども、1つは図書館の「図書館の友の会米子」というのが、去年から始まりまして、この前2回目の総会がありましたけれども、これはどのように生涯学習課が受け止めていますでしょうか。

友の会というのは、応援団として発足していて、教育長がおっしゃった知恵を使ってという部分の1つと思って立ち上げられたけれども、それをどのように受け止めているのだろうかというのが1つと、それから児童文化センターを始めいくつか指定管理者制度で委託されている施設があるわけですが、指定管理者に移った段階でどれくらい安くなっているのでしょうか。

おおまかでいいですから。

参考までにといいますのは、行政相談の方に相談が入っておりまして、専門家か委託されていないような場合にどうしてもサービスの低下があるということで、でも時代の流れとして指定管理者というものは必要だとは思いますが、どれくらい安くなっているのか知っておきたいと思えます。

齊下図書館長

1点目の友の会につきましては、図書館のいろいろな活動を応援しようということで立ち上げていただいたもので、図書館としましても非常にありがたいと認識しております。

今、図書館の増改築を予定しておりまして、それに関してもいろんな御意見を持っておられまして、いろいろ協議しております。

前も友の会の役員の方とお話をさせていただいたり、このプロジェクトの内容について説明させていただいたりしておりまして、みなさんの中で出して頂いたご意見等は図書館の中でもいろいろ協議しながら受け止めさせていただいて、ぜひ参考にさせていただきたいと思えます。

ただ、ご意見がさまざまございまして、財政的なものもありますし、できることとできないことが当然ありますし、その中でできるだけのことをしていきたいと思えます。

早原委員

今後、協力体制という気持ちで、いいことは一緒に頑張れるという気持ちがあれば効率が上がりますのでよろしく願います。

角文化課長

指定管理で文化課の関係があったもので、私の覚えている範囲ですけれども平成18年から指定管理制度が米子市で適用になりまして、これまでの実績で全部合わせて5億4千万円の削減効果があったという記述がございました。

手島生涯学習課長

児童文化センターの経費節減についてでございますが、年間で約500万円程度、4年間で2000万円程度の経費節減になっております。

早原委員

何割ぐらいの経費が節減されましたか。

小玉生涯学習課青少年係長

7パーセントぐらいの節減になっています。

ト蔵委員

指定管理についてですけれども、5年間の委託期間があると思いますけれども、事業を委託した時に1年、1年のチェックがあるのか、それとも5年間なにもチェックがないのか。

やっぱりどこかで中間のチェックを入れていただきたいと思います。

勝部委員

3点お願いします。

1点目。

この資料の内容ですけれども外に出していいのでしょうか。

事務局

はい。

勝部委員

2点目。

私たち委員に今日の資料をずいぶん以前に配布していただき、事前に読ませていただいて出て来ました。

ここに書いていないことも説明に出てきましたので、ぜひこれはというものがあれば、主な事業の概要の前にもう1枚でも挟んで、そこに注釈のような形で書いていただいて、ここに書いてあることを例えば言わなかったからといっても、私達社会教育委員は読んで全て大事なものだとして受け取っておりますので、この会で要点的なことを説明していただきながら、進めていただくと、限られた時間がもう少し有効に使えるかなと思ったりしましたので、ご検討ください。

3点目。

文化課にお尋ねいたします。

伯耆古代の丘等のいろいろな施設がお金をつぎ込めるということで、全国にもないような内容をその中に取り込むということで話をされましたが、より正確なものをそこに組み込まれるでしょうけれども、いろいろな施設を訪ねて回っていますが、専門的なことが書いてあればあるほど、普通の人が2度、3度行くということはそこにいる人がいかに専門をにじませながら楽しく聞かせるということだと思っております。

人によって施設が生かされるので、施設が出来たらそれをPRすると同時に、それが本当に生かされるようにして欲しいなと思っております。

ト蔵委員

先ほどの勝部委員と重なりますけれども、手島課長から説明がありましたが、鳥大との産・官・民の「ものづくり道場」が今年で最終年を迎えると思います。

そういう資料はこの中にあるといいかな。

沢山リーフレットも作ってありますし、できたらそのリーフレットも委員に配布いただくと、地域とつながっていく事業ですし、配布していただきたいと思います。

それと、1点、公会堂を今いろいろな意味で市民が意見交換をしておりますけれども、10年前の西部地震の時は、公会堂は大きな被害はなかったですね、確か。

児童文化センターは液状化現象がありましたけれども、西部地震の時は影響がなかったものが、急に劣化したりするものなのかな、よく分かりません。

地震で何も影響がなかったのに、今急に丈夫な建物でないと言われても飲みこめません。

できればいろいろな情報を出していただけたらなと思います。

内田委員

先般、送られた資料を見せていただいて各課の施設維持管理に没頭するという予算内容のように見受けます。

もちろん、維持管理は大切ですが、一般住民が活用したいのはソフト事業ですね。

なんとか、今財政難でございますので、今早急にというわけではいきませんが、ソフト事業を今後は検討していただきたいというふうに考えます。

永田会長

ありがとうございました。

その他にありますか。

では議題の2に移りまして、みなさんのお手元にあります米子市教育振興基本計画策定計画につきまして説明いただきたいと思います。

手島会長

それでは、ご説明いたします。(米子市教育振興基本計画策定計画について説明)

永田会長

ただ今、米子市の教育振興計画の今後の予定について話がありました。

23年度に策定をして24年度から事業実施に入るということであります。

今日は時間もありませんでしたので、ぜひ委員の皆様には貴重な意見がございましたら委員会を通じてだけでなく、委員個人として教育委員会の方に意見を出していただきたいと思います。

ト蔵委員

ご提案があります。

6月3日東部総合事務所で公民館職員の企画能力研修会がありまして、公民館から2名、社会教育委員の相見さん、ト蔵が2名研修に行きました。

その時に倉吉市の明倫公民館のお話を聞いて、ぜひこれは明倫公民館に社会教育委員の会で視察に行かせていただきたいなとご提案させていただきたいと思います。

もう1点はここにおられる小学校、中学校の校長先生がおられますけれども、児童特に高学年4、5、6年を対象に公民館をどのような時に利用しているのかアンケートを取らせていただけたらなと思います。

持ち帰ると回収率が悪くなりますので、こちらで簡単な原案を作りますので、学校の放課後などにアンケートを実施していただければと思います。

データがないといろいろなことで意見交換もできませんので、できたら順次取っていかせていただきたいと思いますので、校長会の方でこういう提案があったとお話いただけたらなと思います。

6. その他

手島生涯学習課長

本年度の10月28日に全国社会教育研究大会福島大会がありまして、今回分科会で米子市の事例としてタムタムスクールの発表をしていただくことになりまして卜蔵委員に出ていただくことになりました。

7. 閉会

永田会長

本日は執行部、関係者のみなさんには22年度の社会教育の施策について、詳しいご説明をいただきまして誠にありがとうございました。

また、委員の皆様には長時間にわたり審議をいただきましてありがとうございます。

第1回の社会教育委員の会はただ今をもちまして閉会といたします。

たいへんご苦労さまでございました。

ありがとうございました。